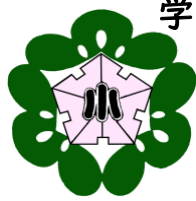


教育目標：よく考え 進んで学ぶ子 自分も友だちも大切にする子
正しく判断し 行動できる子 体を鍛え 最後までやりぬく子



学校だより

高 松

令和7年6月2日 発行

立川市立第五小学校

校長 関口 保司

〒190-0011

立川市高松町1丁目12番25号

TEL 042-523-5238

042-523-5230 (こだま学級)

FAX 042-529-0854

HP <http://www.tachikawa-edu.jp/es05/>

楽しく体を動かすその先に

副校長 上野 徹

先月17日(土)に実施した学校公開には、多くの保護者の皆様に来校・参観いただきました。市内第三小学校で発生した不審者侵入事案を受け参観人数や受付等について変更したうえで実施しましたが、皆様のご理解とご協力をいただき、そしてPTA本部役員の方々からお力添えをいただき、無事に終了することができました。心より御礼申し上げます。

さて、ちょうど学校公開があった5月中旬から6月中旬にかけて、どの学年・学級でも「体力テスト」に向けて取り組んでいます。「握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ」の8種目がありますが、この中の多くが小学生にとってはこの時期にしか挑戦することのない動きばかりです。

そこで五小では、体育の授業でそれぞれの動きに慣れる時間を確保しています。それだけではなく、休み時間には体育委員会の児童が体育館でギャラリーからフラフープを吊るしてソフトボール投げの練習の機会を設けてくれます。委員のお兄さん、お姉さんに「フープに向かって目線を上げて」と声を掛けられ、楽しそうに何回も投球する子どもたちの姿が見られます。

この期間に、私は2年生のシャトルランやソフトボール投げに立ち会うことができました。走る前は「苦手なんだよな…」と弱音を漏らしていた子が、周囲から聞こえる友達やほっとメイトの方々の声援や担任の励ましが聞こえたからか20mを往復する間に引き締まっていった表情が強く印象に残っています。同じグループの中で一番にはなれませんでした。走り終えた後には明らかに達成感を得ている様子でした。ソフトボール投げでは、たった2～3球投げただけでコツをつかんだ子が、後ろで待っている友達からその飛距離に「○○ちゃん、すごーい!」と歓声を受ける場面も目にしました。

体力テストは、全て結果が数値として表われます。近年では記録の収集やアンケートまでデジタル化されて、経年の変化も確認することができます。それらのデータを活用して日々の運動習慣を身に付けていくことができれば、大変素晴らしいことです。しかし、結果や数値だけでなく、この体力テスト期間に周りの人から教わったり励まされたりしながら運動して、体を動かすことの楽しさを味わってもらえたら最高の取組になると実感しています。

楽しく体を動かすその先に、体力向上や豊かなスポーツライフの実現など、人間の基礎になる部分が磨かれるのではないのでしょうか。各ご家庭でも学校の体力テストをきっかけに、お子さんが運動する機会を設けたり、時には親子でスポーツを楽しんだりしていただけたらと思います。

【不審者侵入等の未然防止について】

☆来校の際は必ず名札を着用し、事務室前で受付を済ませてから各所へ向かってください。

☆教職員も名札を着用し、来校者に対して教職員であることを明示します。また、教職員から来校者へ挨拶等の声掛けを徹底します。

☆学校にあるそれぞれの門については、次のようにします。

- ・正門、西門…児童の登校時のみ開門、その他の時間は施錠。
- ・通用門、東門…防犯カメラがあるため施錠はしませんが、出入りの際は必ず閉めてください。
- ・2つの北門、プール近くの門…常時施錠。

*年度当初の予定を前倒しして、6月に不審者対応の避難訓練を実施します。ご承知おきください。

以上、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。